

## 【市議会】平成30年第1回江田島市議会定例会 市長開会あいさつ

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、平成30年第1回江田島市議会を開会するに当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には早朝から、定例会の傍聴にお越しいただき、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、2月もすでに終わりに近づきまして、寒さが特に厳しかったこの冬に終わりを告げ、梅の花が香り、春の足音が、そこに聞こえてくる、そういった時期となりました。

そうした中、私が市長に就任させていただき、この度、2度目の予算編成を行ったところでございます。今回の2度目の予算編成は、「起承転結」という言葉で表すならば、「承」にあたるものでございます。

昨年に引き続きまして、「雇用の創出」「子育てしやすい環境づくり」「健康寿命の延伸」を、この3本柱を継承し、更に磨きをかけ、「人口減少課題」に今以上にチャレンジしてまいりたいと考えております。

この内容につきましては、今定例会におきまして、御審議をしていただくこととしており、私の思いは、施政方針の中で述べさせていただきたいと思っております。

そうした新年度予算には、多彩な新規事業がございます。また、今年度までに数多くの事業を展開してまいりました。しかしながら、市内外に、それを伝える、宣伝する、PRすることなどが江田島市は不得手ではないか、と感じているところでございます。

昨年、平成29年を代表する新語、新しい言葉の第3位に選ばれました「パワーワード」という言葉がございます。これは、「説得力のある言葉」とか「表現が強烈な印象のある言葉」などの意味を表すものでございます。

人口減少課題の解決には、市内外から江田島市の魅力や事業を、まず知っていただくことが本当に大切なことだと思っております。新年度におきましては、この「パワーワード」、説得力のある言葉や、印象の強い言葉を意識しながら、積極的に江田島市を市内外に発信してまいりたいと考えております。

そして、本年は、明治維新から数えまして150年目にあたります。国や他の自治体では記念事業や関連行事を行うと聞いております。NHKの大河ドラマにおきましても、明治維新の立役者であります西郷隆盛を主人公といたしました「西郷どん」(せごどん)の放送が開始されました。

その明治時代、江田島市におきまして、今から130年前の明治21年、西暦1888年に、旧海軍兵学校が東京築地から移転・設置をされました。

その後、昭和31年には海上自衛隊術科学校となったわけでございます。本年は江田島市に旧海軍兵学校が移転設置されてから130年という節目の年にあたります。

市内には、第1術科学校をはじめ、海上自衛隊の関連施設が5か所ございまして、面積としましては、約176万㎡となります。この海上自衛隊と江田島市は旧海軍兵学校の開設以来、共存共栄、一体不可分の関係でございます。

その協力関係の一つには、教育施設でありながら、観光施設としての貢献がございます。市では、第2次江田島市総合計画に6年後の平成36年には、総観光客数100万人という大きな目標を掲げまして、取り組みを行っております。第1術科学校では、施設の見学に、年間約6万人の受け入れをしてくださっており、市の観光客の主要な立ち寄り先になっているところでございます。

また、災害関係といたしましては、平成17年4月5日には「災害時の活動覚書」を、また、平成29年7月12日には「災害時の連携に関する協定」を締結いたしまして、有事の際や平常時におきましても連携をしていくこととしております。

さらには、サマーフェスタ江田島を始めといたします市の関連行事や自衛隊記念日などの海上自衛隊関連行事にお互いが協力しあい、地域への盛り上げに寄与いたしております。その上、海上自衛隊によります市民の皆様への貢献といたしまして、古鷹山の登山道整備や長瀬海岸の海浜清掃などがあげられます。

このように海上自衛隊は、有事の際だけではなく、日常的にあらゆる場面におきまして、江田島市に貢献いただいております。心から感謝するとともに、今後も市民の皆様と一緒に協力関係を続けていきたいと切に願っているところでございます。

このような関係の中におきまして、私は、自衛隊員の皆様にも今以上に、江田島市に住んでいただきたいと思っております。

そのため、先月、1月24日には防衛省におきまして、村川海上幕僚長とお会いいたしまして、隊員の本市への居住をお願いしてきたところでございます。

そして、昨日、閉幕されました韓国のピョンチャンで開催された冬季オリンピックでは、連日連夜、多くの感動を日本代表選手を始め、各国の選手の皆さんからいただきました。

その中で、昨年の世界フィギュアスケート国別対抗戦の表彰式におきまして、江田島市のオリーブ冠をかぶっていただきました羽生結弦選手が、今回のオリンピックのフィギュアスケートで金メダルを獲得いたしました。

昨年11月の練習中でのけがを克服し、見事な復活で、66年ぶりのオリンピック連覇という偉業を成し遂げられたものでございます。

江田島市では、能美海上ロッジに代わる魅力ある宿泊観光関連施設、新ホテルの建設につきましては、大変、残念なかたちとなりました。しかしながら、羽生選手が見事な復活をしたように、私たちも新たな知恵と努力で、今まで描いていたもの以上の魅力ある新ホテルを募集していきたい。そして、市民の皆様に喜んでいただける施設にしたい。このように決意を新たにいたしております。

議員各位の一層の御支援と御協力を是非お願いいたします。

平成30年2月26日

江田島市長 あき おか しゅう さく  
明 岳 周 作